

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより

きらりNet



令和3年3月5日

第111号

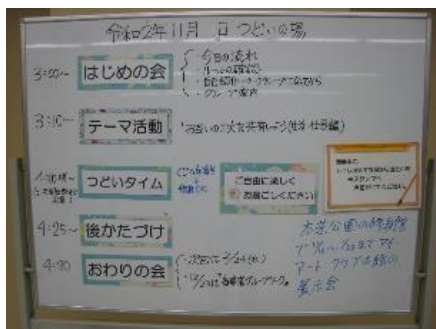
秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

発達障害者支援センター 当事者向けプログラム「つどいの場」の活動について

教諭（兼）教育専門監 島津 憲司

「つどいの場」は、発達障害者支援センターを利用する当事者（高校生以上）向けのプログラムです。生活の中に「安心して過ごすことのできる居場所」を増やすことを目的としてスタートしました。希望する当事者の方が集まり、スタッフや参加者同士で顔を合わせてざっくばらんに会話等を楽しむ活動をしています。私もスタッフの一人として参加しています。

スタートから10年が経ち、それぞれに当初の目的を達成できたという実感もありました。そこで、今年度からは「つどいの場」をさらに当事者同士がお互いの経験等を共有し、自身の発達特性をより理解するための交流の場にしていこうと内容をリニューアルしました。



月毎にテーマを決めて、少人数のグループに分かれて意見交換をします。毎回、7人～10人が参加しています。



グループの話し合いでは、5分間で交代するルールで、テーマに沿って自分の経験や思い、考えを伝え合います。スタッフの助言を受けたり、「話し方ガイド」等を使ったりして、自信をもって話すことができるように配慮しています。話した内容はスタッフが付箋紙へメモします。最後にホワイトボードにカテゴリ毎に貼り、他のグループの内容も含めて全体で確認します。

月毎のテーマは「好きなことをきっかけにコミュニケーションを広げてみよう」、「お互いの工夫を共有しよう（生活／仕事 編）」、「興味の強さをいかそう」等です。今年度は、これまで4回開催しました（1回の交流会は、1時間30分です。今後2回開催予定です）。

当初は、新たな試みに戸惑う方もいましたが、年間の予定表を見て自分に必要な回を選んで参加する人や、ルールを守りながら毎回積極的に話し合いを進める人など、それぞれが自分のペースで楽しみながら無理なく参加できています。年度末には、「つどいの活動を振り返ろう」ということで、これまで話し合った内容をプリントにまとめ、みんなで共有し、より良く生活するためのヒントとして活用していくことができるようにしたいと考えています。

（※秋田県立医療療育センターへ秋田県より派遣されている教育支援員として勤務されています。）

実践紹介⑧ 幼児教室 「きらり☆ひろば」

幼児教室「きらり☆ひろば」は、中通総合病院に入院している幼児を対象に、月3回、小児科病棟を訪問して行っています。病棟保育士と連携し、子どもたちの心理的な安定や社会性の育みとなるよう遊びの場を提供し支援しています。過去のきらりNet（第100・84・74号）も併せてご覧ください。



★歌・手遊び・制作など★
子どもが好きなことや季節の行事を取り上げています。この日はハロウィンに向けてお菓子入れを作りました。

★病棟行事に参加・協力★
クリスマス会では、きらり☆ひろばの活動の中で制作した絵をお母さんにプレゼントしました。

★学生ボランティアの参加★
コロナ感染拡大防止のため、今年度はオンラインで学生が参加し、絵本の読み聞かせをしてくれています。

（文責：小林佐知子）

教育専門監のコーナー

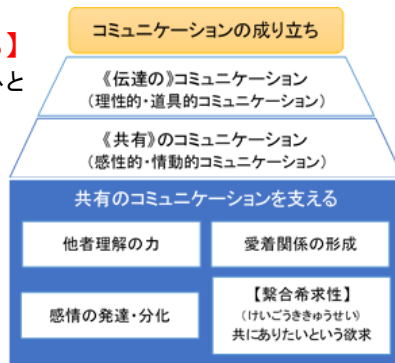
【学びに向かう力と豊かなコミュニケーション】

【幼児期の学びに向かう五つの力】

- 「すべての学力の基礎となる語彙力」
… きれいな言葉と豊かな表現力となる
- 「問題解決の基礎となる見つける・予想する力」
… ものごとを整理し、確かめて、理解する力となる
- 「生活を豊かにする数・量・順位の感覚」
… 遊びの世界を広げる力となる
- 「国語力の基盤となる筋道立てて考える力・話す力」
… 読解力や問いに答える力となる
- 「触る・握る・目で追う手足を思い通りに動かす力」
… 奥行き・距離感・物のしくみを学ぶちからとなる

【コミュニケーションの成り立ち】

仲間との多様な体験は、一人ひとりの自尊感情を高め、気持ちや感情、情動の「共有」は、自分を愛し愛されることができる力を育みます。人を理解し、人とつながり、人とともにありたいという気持ち（整合希求性）は、自らが社会で役割を担って生きるという夢（目標）へとつながっていきます。



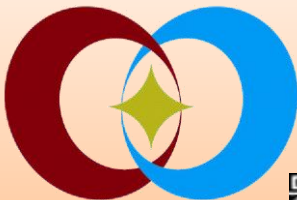
参考：「肢体不自由児の支援のヒント 支援教育だより Part 5」
香川県立高松養護学校 <https://www.kagawa-edu.jp/takayo02/htdocs>

《一人ひとりの夢に寄り添う》

「きらり☆ひろば」に通う子ども達は、入院生活という環境の変化や思い通りにならない状況を受け止め日々過ごしています。大切にしているのは、子ども達の話聴き、子ども達が描く夢を受け止め、自尊心を大切にしながら、心の流れに添い見守ること。生活経験が異なる幼児の姿を一人一人丁寧に見取り、環境を整え、遊びを通して学びに向かう力を育む幼児教室の取組は、一人一人のニーズに応じた特別支援教育そのもの。自分の力を発揮できる環境で過ごす経験は、一人一人の自尊感情を高め、仲間との多様な感情の共有を繰り返しながら、それぞれの夢を育み、集団参加を果たしていきます。

様々な体験、環境の中で起こる、喪失、怒り、不安という言葉にできない感情。「自分は愛されている」「ここにいてもいい」と前を向き、自分や他人を大切に思うことができるように、夢を見つけ、その夢に向かって生涯挑戦し続けられるように、「きらり☆ひろば」と「つどいの場」が、一人一人の夢に寄り添う場となることを願います。

〈文責：二階堂 悟〉



教頭 兜森 宏征 地域支援部主任 大友 明希子

住所：〒010-1409 秋田市南ヶ丘1丁目1番1号

E-mail: kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018 (889) 8573 FAX：018 (889) 8575



「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>